

食品安全関係情報( 7月19日 ~8月15日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

7月19日 ~8月15日 (前回7月5日 ~7月18日)	収集件数 (合計189/89件)	国際機関	北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他
		WHO・FAO等 (9/4件)	米国 (15/3件)	カナダ (7/1件)	EU、EFSA (48/28件)	各国 (40/25件)	FSANZ等 (8/1件)	中国 (19/7件)	各国 (13/5件)	各国 (2/0件)	報道、論文等も含む (28/15件)
化学物質 (50/26件)	化学物質・汚染物質 (11件)	1	0	1	0	4	0	0	0	0	5
	食品添加物 (10)	0	0	4	4	1	0	0	1	0	0
	農薬 (17)	0	4	0	9	1	0	1	2	0	0
	動物用医薬品 (2)	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	器具・容器包装 (5)	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3
	その他 (5)	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1
計 (50件)	1	5	5	14	8	0	2	5	1	9	
微生物・プリオン・自然毒 (71/31件)	細菌 (32件)	0	5	1	7	12	1	2	1	0	3
	ウイルス (6)	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3
	原虫・寄生虫 (2)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	プリオン (9)	0	0	0	3	4	0	1	0	1	0
	植物性自然毒 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	カビ毒(マイコトキシン) (8)	0	0	1	1	3	0	0	0	0	3
	動物性自然毒 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他 (12)	5	0	0	1	2	1	2	0	0	1
	計 (71件)	6	5	2	13	23	2	6	1	1	12
新食品等 (13/4件)	新食品 (2件)	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
	GMO (6)	1	0	0	2	0	0	1	0	0	2
	健康食品 (1)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	アレルギー (2)	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (2)	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (13件)	1	1	0	4	2	0	2	1	0	2	
肥料・飼料等 (8/3件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (8)	0	1	0	6	0	0	0	0	0	1
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (8件)	0	1	0	6	0	0	0	0	0	1	
その他 (46/24件)	表示 (4件)	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0
	放射性物質 (1)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	その他 (42)	1	2	0	10	7	4	9	5	0	4
	論文情報 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (47件)	1	3	0	11	7	6	9	6	0	4
海外の食中毒 (0/0件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海外のリコール (0/1件)	化学物質 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	微生物 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異物混入等 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	表示違反 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

## 食品安全関係情報(7月19日～8月15日収集分 189件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

### 【化学物質】

- ・ 国際連合食糧農業機関(FAO)、コーデックス委員会による乳児用調製粉乳中の鉛及びコメ中のヒ素の強化した基準値を公表
- ・ ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)、食品中の残留塩素酸塩の健康影響評価に関する助言を行った

### 【微生物・プリオン・自然毒】

- ・ 国際連合食糧農業機関(FAO)、西アフリカで流行しているエボラ出血熱に関してフルーツコウモリのリスクについて注意喚起
- ・ 米国食品医薬品庁(FDA)、2011年全米薬剤耐性監視システム(NARMS)要約書を発表
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)
  - ・ 食肉の保存及び輸送時のコールドチェーンの保持に関連する公衆衛生リスクに関する科学的意見書 Part2(全動物種のひき肉)を公表
  - ・ 食卓卵の劣化と病原体増殖による公衆衛生リスクに関する意見書を公表
  - ・ 「2010～2011年の欧州連合(EU)におけるいくつかの非加熱喫食用(RTE)食品のリステリア・モノサイトゲネスの汚染率の基本調査に関する分析 PartB:汚染率に関連する要因及び法令順守の検証」と題する科学報告書を公表
  - ・ 非定型牛海綿状脳症(BSE)感染性の分布に関する今後の実験研究のための手順書を公表
  - ・ 欧州連合における10年間のめん羊及び山羊のモニタリング及び管理の後のスクレイピー状況に関する意見書を公表
- ・ スペイン農業食料環境省(MAGRAMA)、欧州における牛海綿状脳症(BSE)発生状況を更新、フランスで1頭発生(2014年フランス:2頭目)、スペインで1頭発生(2014年スペイン:2頭目)

### 【新食品等】

- ・ 米国食品医薬品庁(FDA)、ルピナスアレルギーに関する消費者向け啓発資料を発表
- ・ 英国食品基準庁(FSA)、小規模・中規模事業所向けの食品アレルギー表示に関するガイドラインを公表
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)
  - ・ オランダ国立公衆衛生環境研究所(RIVM)、合成非晶質シリカ(SAS)である食品添加物 E551 の安全性に懸念を示す論文を発表
  - ・ 「利益関係の宣言」に関する実施規程を改訂し、「独立性及び科学的な意思決定プロセスに関する方針」の見直しを2015年に予定

### 【その他】

- ・ 米国食品医薬品庁(FDA)、純カフェイン粉末の使用について注意喚起
- ・ 台湾衛生福利部食品藥物管理署、「健康食品」とは何かについて説明